

## 戦略計画 16

### 地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり

#### ● 5年後（平成35年度末）の目標

73万人の人口を擁する住宅都市としての特性を活かした、中小企業の事業活動の活性化と商店街の魅力づくり

#### ● 現状・課題

区内には、2万を超える事業所が存在し、多様な事業活動を行っています。平成26年度に練馬ビジネスサポートセンターを開設し、毎年1,000件を超える経営相談を受けています。経営者の高齢化が進み、事業承継が大きな課題となっています。一方で、創業支援による起業件数が年々増加するなど、創業に関する機運が高まっています。

コンビニやスーパーで買い物をすることが多くなり、商店街を利用する機会が少なくなっています。平成25年度に107商店会（会員数4,423店舗）あった区内商店会数が、平成29年度は100商店会（会員数4,181店舗）に減少しています。商店街が買い物や飲食をもっと楽しめる場、イベント等により人々が交流できる場となるよう、魅力を高める必要があります。

事業者が、それぞれ創意工夫を重ねながら事業を発展させることを基本にして、意欲ある企業への支援と魅力ある商店街づくりが必要です。

#### ● 5か年（平成31～35年度）の取組

##### 1 創業への総合的な支援の充実

練馬ビジネスサポートセンターを拠点に、創業への総合的な支援を充実します。

- (1) 創業支援により起業した事業者に対し、定期的なフォローアップを行い、継続的に経営をサポートします。
- (2) 学生向けの創業セミナーを開催し、起業を目指す新たな人材を育成します。
- (3) 商店街空き店舗入居促進事業を検証し、更に商店街の活性化などにつながるよう取り組みます。

## 2 販路拡大など企業活動の活性化

- (1) 区内事業者等が参加する商談交流会を開催し、事業者間の商取引チャンスの拡大につなげます。
- (2) 大学等の知的財産や研究ノウハウなどを企業において活用・事業化する産学連携活動を推進するため、セミナーの開催等を行います。
- (3) 超高齢社会を迎え、需要が高まる福祉・生活関連産業に取り組む事業者へ専門アドバイザーを派遣し、新商品の開発やサービスの創出を支援します。
- (4) 事業承継に取り組む事業者、商店主に対してセミナー・個別相談会の開催や専門アドバイザーの派遣を行います。

## 3 商店街や個店の魅力づくり

- (1) 個店の魅力を伝える「まちゼミ」や店舗同士が連携した取組、地域の歴史や文化を活かした商店街の取組を支援します。
- (2) 練馬区商店街連合会・ねりま観光センター・区の3者で連携し、商店街の魅力を巡る体験ツアーや外国人から見たおすすめのお店紹介など、積極的に情報発信します。

## 4 まちづくりと一体となった商店街振興

まちづくりを契機として、商店街の活性化や商業・サービス施設の立地促進などに取り組むことが重要です。鉄道の延伸や連続立体交差事業を進める地域では、まちづくりと一体となった商店街振興に取り組めます。



商談会の様子



地域の歴史を活かした商店街の取組



パン屋が連携して開催したイベント